

トンネル内装塗装(視線誘導)施工手順書

* 施工には協会の講習受講が必要となります。

内 容	既設コンクリート 監査路下 直塗塗装
-----	-----------------------

塗装仕様	素地調整
	下塗り セラマックス#3000
	上塗り セラマックス#3000

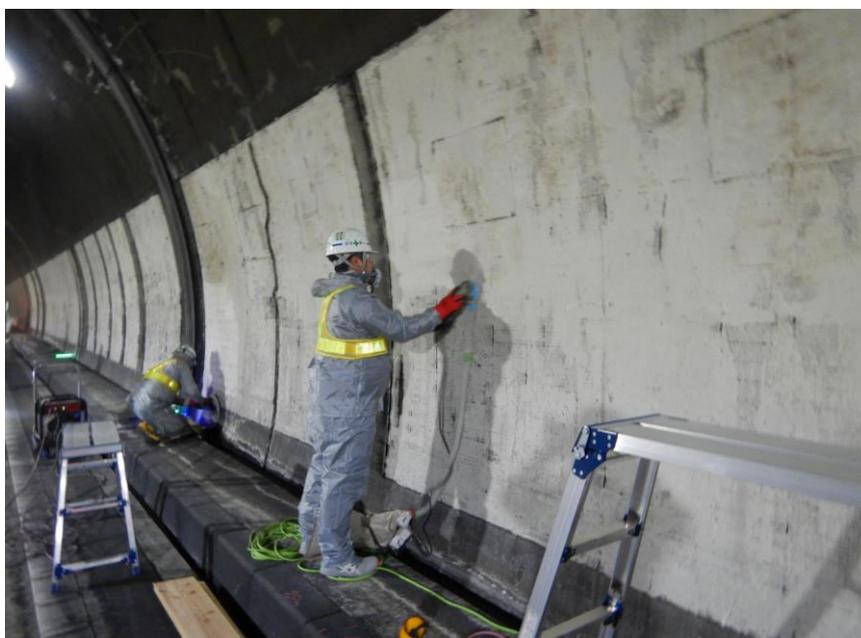
一般社団法人 無機質コーティング協会



No.1 施工前状況

漏水、ひび割れ、断面修復等を確認

必要に応じ、材料検収



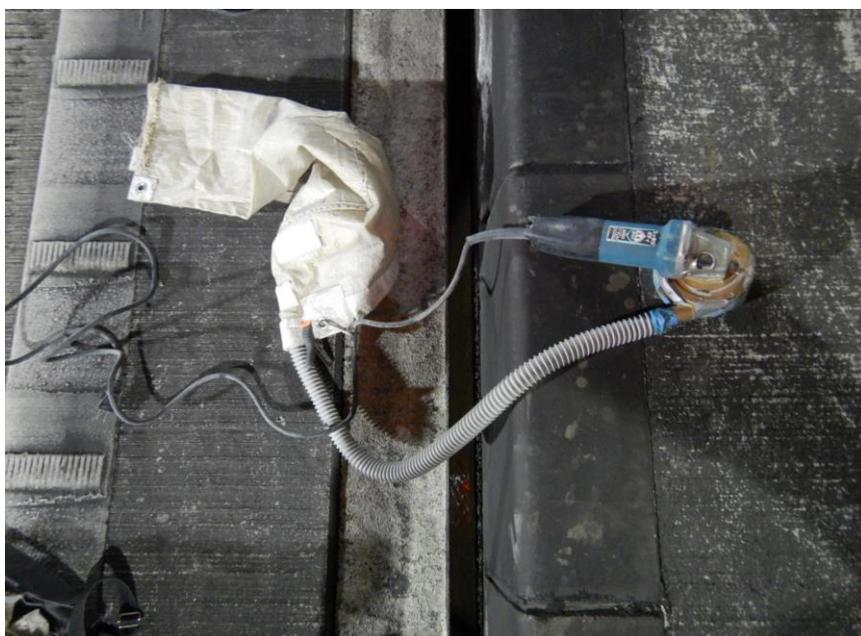
No.2 ケレン

バリ、付着物、離型剤等の除去

含侵を阻害するものは完全除去

塗装面エアブローによる清掃

(特に巣穴に入ったほこりを除去)



No.3 ケレン道具

ディスクサンダー

(必要に応じ集塵機付き)

推奨

アートサンダーF(大塚刷毛製造)

アートカップ(赤)

新設はランダムサンダー(#40)



No.4 養生①

テープの付着を良くするため、
のりスプレー塗付

.....

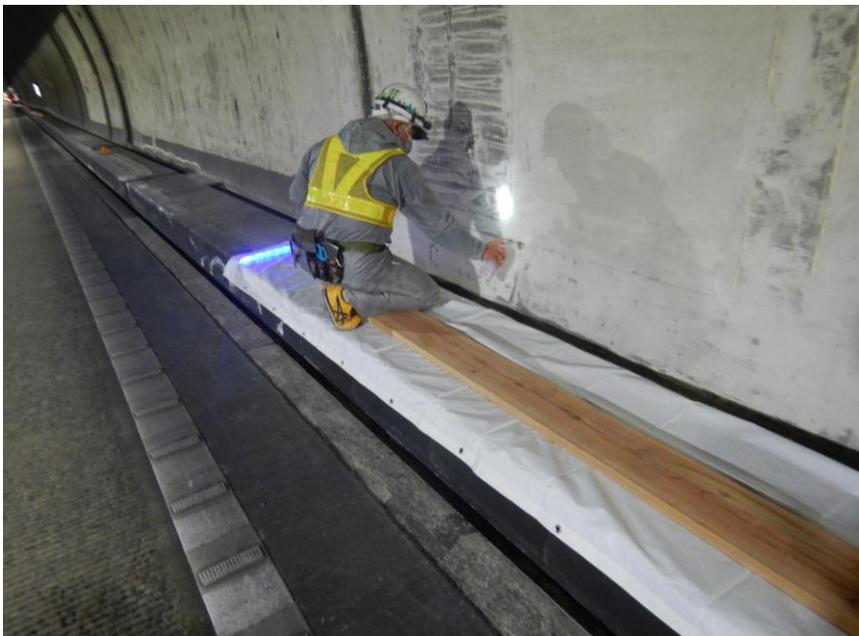
.....

.....

.....

.....

.....



No.5 養生②

.....

.....

.....

.....

.....

.....



No.6 養生③

塗料のかいくぐりを防ぐため、
テープをしっかりと押し付ける
(ローラ等で押し当てる)

.....

.....

.....

.....

.....



No.7 養生④

地面への飛散を防ぐため、
マスキングテープを使用

風が強い場合は、
飛散しないよう処置を行う



No.8 塗装前確認①

気温 5°C以上

湿度 85%以下を確認



No.9 塗装前確認②

含水率 8%以下を確認

結露がないことを確認



No.10 材料攪拌

電動攪拌機にて5分攪拌

泡噛みしないよう低速回転

顔料が沈殿しているので缶底より攪拌

攪拌不足で上澄みを使用すると、

隠ぺいや付着に影響が出る。

下塗・上塗同様



No.11 下塗①

セラマックス#3000 下塗

塗付量 200g/m²

巣穴にも入れ込む

ローラは下⇒上が良い

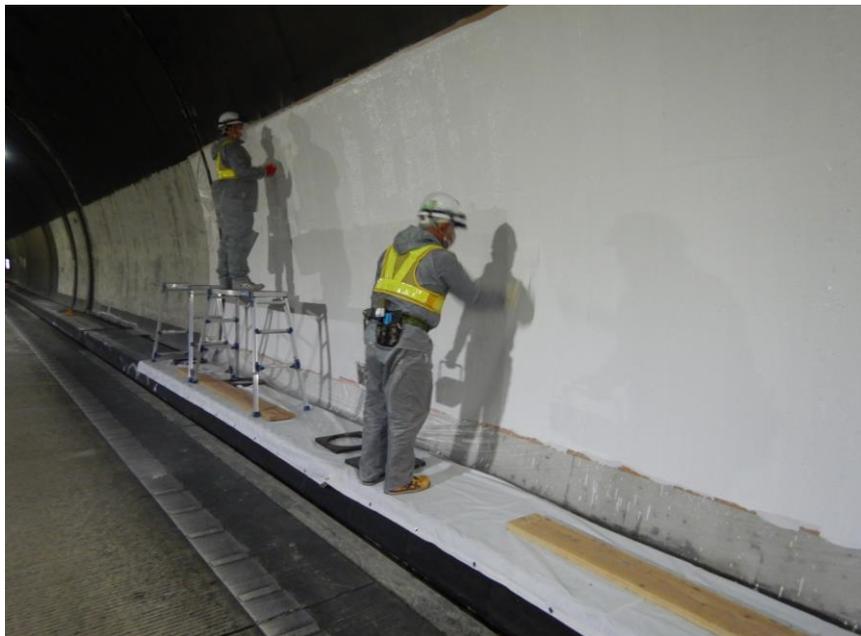
推奨毛丈 20~23mm



No.12 下塗②

ローラで埋めきれない巣穴は

刷毛でひろう



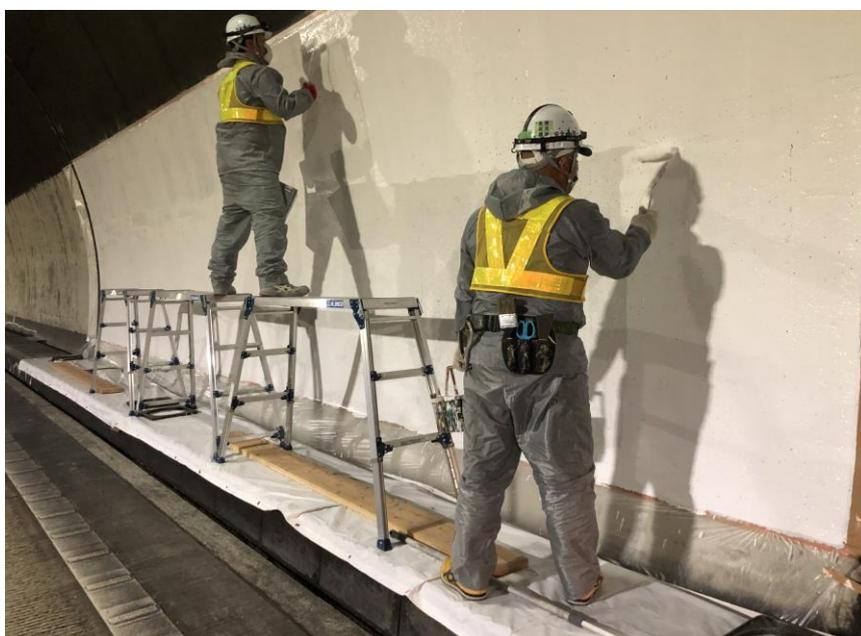
No.13 下塗③ 仕上げ

ジャンカ、凹凸、
吸込みがある部分、
スケがみられる部分を
確認し、塗り込みを行う



No.14 下塗完了

均一な仕上がりを確認



No.15 養生撤去・清掃

塗装間隔約2時間～24時間

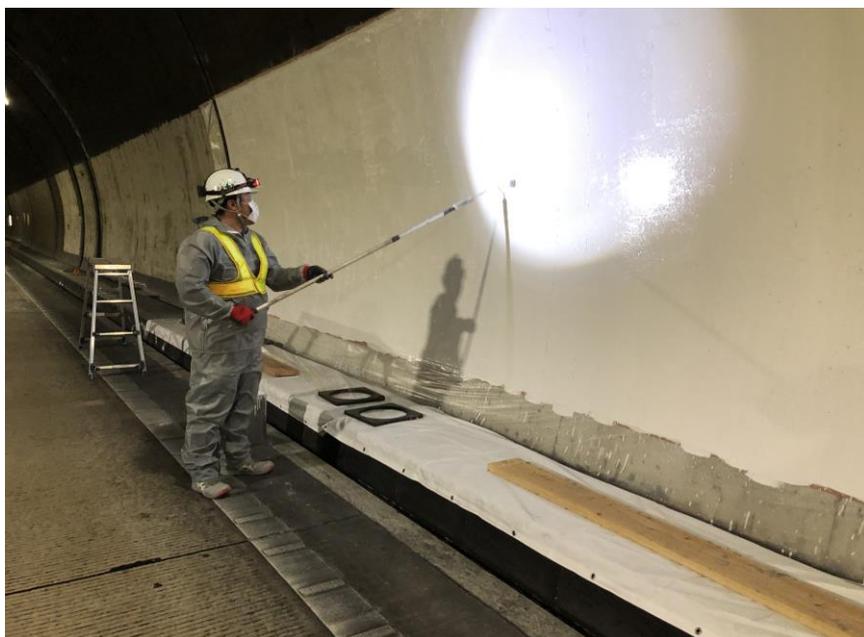
(指触乾燥を確認)

* 24時間以上置いた場合は全面目粗し

セラマックス#3000 上塗

塗付量 180g/m²

推奨毛丈 20～23mm



No.16 施工完了

塗付後、

吸込み、塗装ムラ

スケがみられる部分を確認・塗装

推奨

長柄で塗装面を途切れなく均す



No.17 養生撤去・完了

塗装面が乾燥するまでに撤去